

本計画の4つの柱に基づく具体的な取組の中から、以下の8つの施策を「重点事業」として位置付け、重点的に取り組んでいきます。

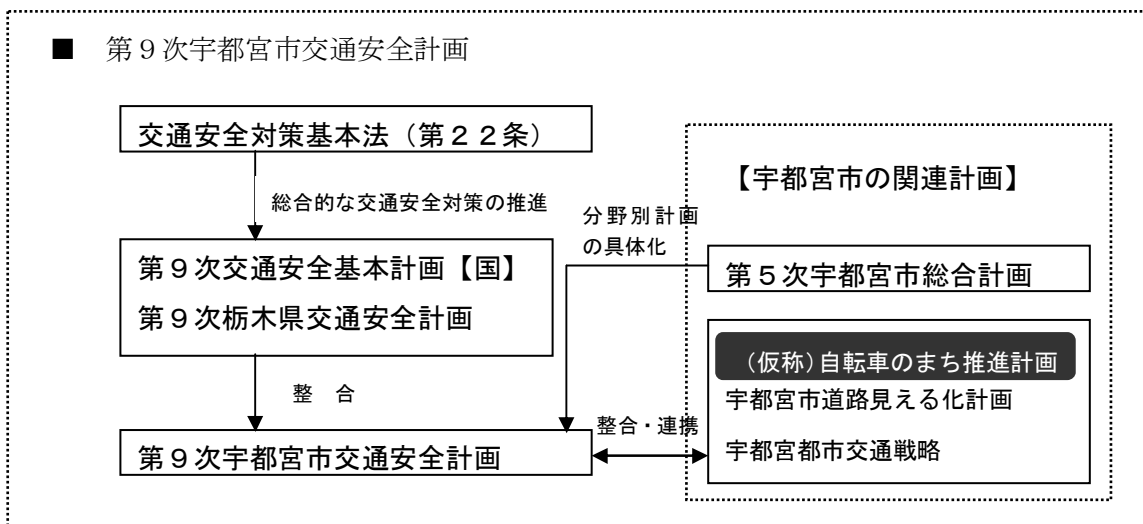
4つの柱	重点事業
<p><b>目標Ⅰ</b> だれもが“安全”に自転車が使える ～安全性の向上～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車の走行にとって安全・安心な道づくりの推進</li> <li>自転車のルール・マナーを守ることができる人づくりや自転車の安全を守る環境づくりの推進</li> </ul>	<p><b>新たな自転車走行空間の整備【拡】</b> 新たな自転車ネットワーク路線において、自転車交通量や交通事故の発生状況等から整備の必要性が高い区間を抽出、より優先度が高い区間を「優先整備路線」に選定し、整備を推進していきます。</p> <p><b>交通安全教室等の継続・拡充【拡】</b> 交通安全教室や自転車運転免許事業等の拡充について、策定を進めている「第9次宇都宮市交通安全計画」の中で、具体的な実施手法や目標などを検討していきます。</p>
<p><b>目標Ⅱ</b> だれもが“快適”に自転車が使える ～快適性の向上～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車を快適に使うことができる空間づくりの推進</li> <li>自転車利用者が休憩できる空間の創出や公共交通の連携など、自転車利用が広がる環境づくりの推進</li> </ul>	<p><b>休憩スポットの創出（自転車の駅）【新】</b> 自転車利用者の休憩スポットとして、市の公共施設への自転車修理用の工具やスポーツバイク用のラック等の設置を推進するとともに、観光施設やコンビニなどへの展開を検討していきます。</p> <p><b>鉄道駅周辺への駐輪場整備【拡】</b> 都心部では、JR宇都宮駅周辺への駐輪場の拡充、郊外部では、JR雀宮駅、東武江曾島駅周辺において駐輪場整備に取り組みます。</p>
<p><b>目標Ⅲ</b> だれもが“楽しく”自転車が使える ～観光やスポーツの推進～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車に乗りたくなるような環境づくりの推進</li> <li>観光との連携やサイクリングスポーツの振興による新たな自転車の魅力づくりの推進</li> </ul>	<p><b>観光レンタサイクルの導入【新】</b> 観光施設等を連携した貸出場所を増設等に向けて、モデル事業の実施結果などを踏まえて、運営方法、運営主体のあり方などを検討し、観光レンタサイクルの本格実施に取り組んでいきます。</p> <p><b>モビリティセンターの整備【新】</b> モデル事業の実施結果などを踏まえ、自転車利用・活用を促進する戦略的な施設である「モビリティセンター」の本格的な整備に取り組んでいきます。</p> <p><b>自転車マップの作成【新】</b> 自転車に乗りたくなるような環境づくりに向け、自転車マップを作成し、自転車を活用した観光ルートやサイクリングルートの提案、情報発信を行うことで自転車利用の促進を図ります。</p>
<p><b>目標Ⅳ</b> だれもが“健康とエコ”に自転車が使える ～健康の増進と環境保全～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の健康増進や地球に優しいライフスタイルの推進</li> </ul>	<p><b>自転車モニター事業の実施【新】</b> 宇都宮市内企業の従業員に通勤時等の積極的な自転車利用を依頼し、健康面などへの自転車利用の効果を検証する自転車モニター事業を実施するとともに、事業の成果や自転車通勤者の体験談を踏まえ、自転車利用の効果を広くPRしてきます。</p>

## 2 交通安全教室等の継続・拡充

交通安全教室や自転車運転免許事業等の拡充について、現在、策定を進めている「第9次宇都宮市交通安全計画」の中で、具体的な実施手法や目標などを検討していきます。

### 2.1 第9次宇都宮市交通安全計画の概要（平成23年5月策定予定）

- ・ 「交通安全対策基本法」に基づく総合的な交通安全対策を推進するための計画
- ・ 第5次宇都宮市総合交通計画基本計画の分野別計画に掲げる基本施策である「日常生活の安心感を高める」を実現するための基本計画



### 3 休憩スポットの創出（自転車の駅）

#### 3.1 施策概要

休憩スポット（自転車の駅）については、まずは、市の公共施設（地域自治センター・地区市民センター・出張所等）への自転車修理用の工具や空気入れポンプ、スポーツバイク用のラック等の設置を推進するとともに、自転車を活用した観光ルートやサイクリングルートの検討状況を踏まえながら、観光施設やコンビニなどへの展開を検討していくものとします。

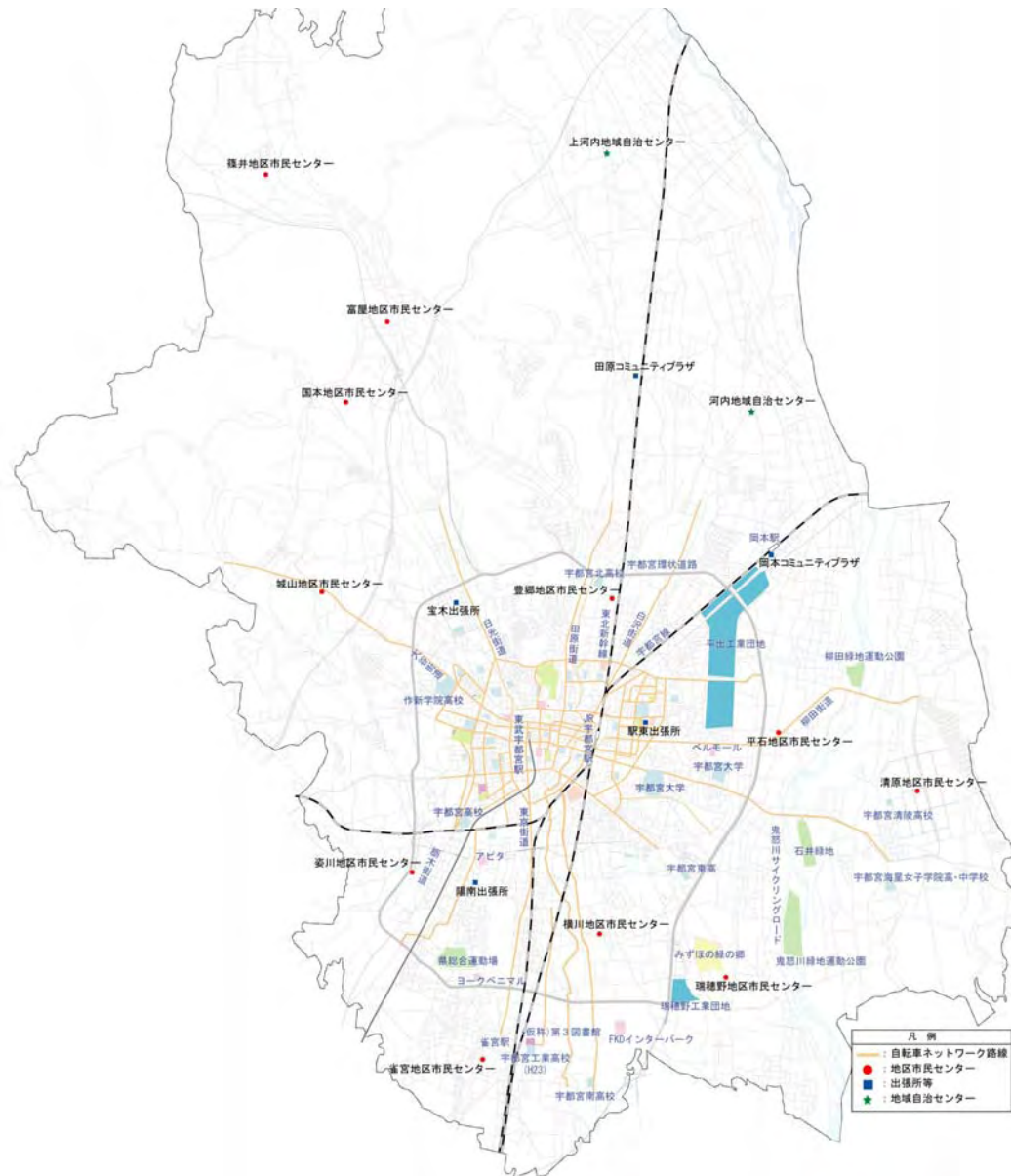


図 休憩スポット（自転車の駅）候補地点（地区市民センター・出張所等）

### 3.2 休憩スポット（自転車の駅）のイメージ

休憩スポットは、既存の施設に自転車の修理工具や空気入れポンプ、スポーツサイクル用のラック等を設置することにより、「自転車の駅」として、自転車利用者が休憩できるスポットを創出するものとします。

休憩スポットのイメージは以下の通りです。

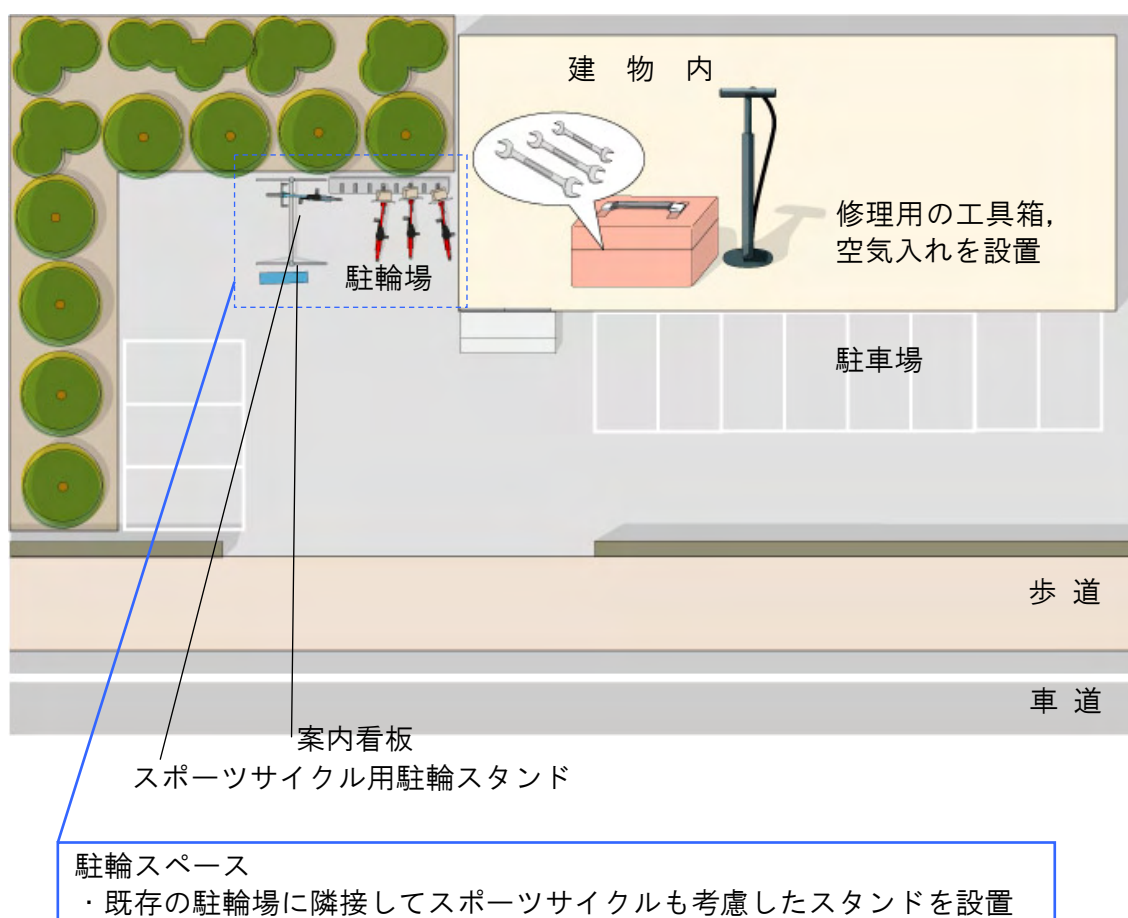


図 駐輪スポット（自転車の駅）のイメージ（公共施設）

## 4 鉄道駅周辺への駐輪場整備

### 4.1 施策概要

#### (1) 都心部の駅（JR宇都宮駅）

JR宇都宮駅西口及び東口市営駐輪場の定期利用待ちや周辺の放置自転車を解消するため、JR宇都宮駅周辺の現状を踏まえながら、歩道上や市有地などを活用し、駐輪場の整備に取り組みます。

整備検討中の箇所	
西口	市営西口駐輪場の拡充
	ララスクエアの東側の歩道上
東口	市営東口駐輪場の拡充

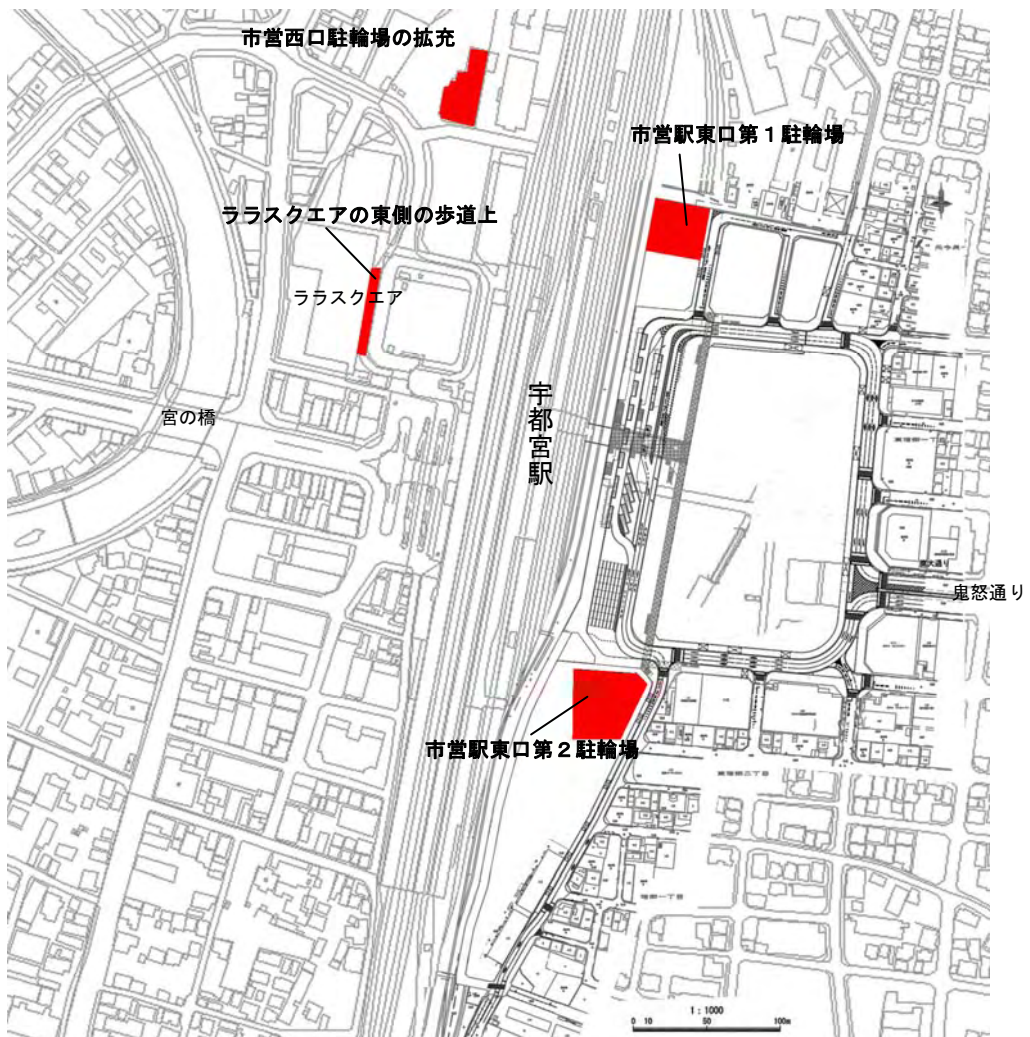


図 JR宇都宮駅付近の駐輪場整備の候補地

## (2) 郊外部の駅（雀宮駅・江曾島駅）

雀宮駅については、雀宮駅東口周辺の整備において約450台の市営駐輪場を新設します。

また、東武江曾島駅周辺については、市道を暫定的に駐輪スペースとして活用していることから、現在の駐輪状況に応じた駐輪場整備に取り組みます。



図 雀宮駅付近の駐輪場整備の候補地



図 江曾島駅付近の駐輪場整備の候補地

## 5 観光レンタサイクルの導入

### 5.1 施策概要

市内の宿泊施設や観光施設へのレンタサイクル設置に向けて、平成22年度から実施するモデル事業の実施結果などを踏まえて、観光レンタサイクルの運営方法、運営主体のあり方などを検討し、観光レンタサイクルの本格実施に取り組んでいきます。

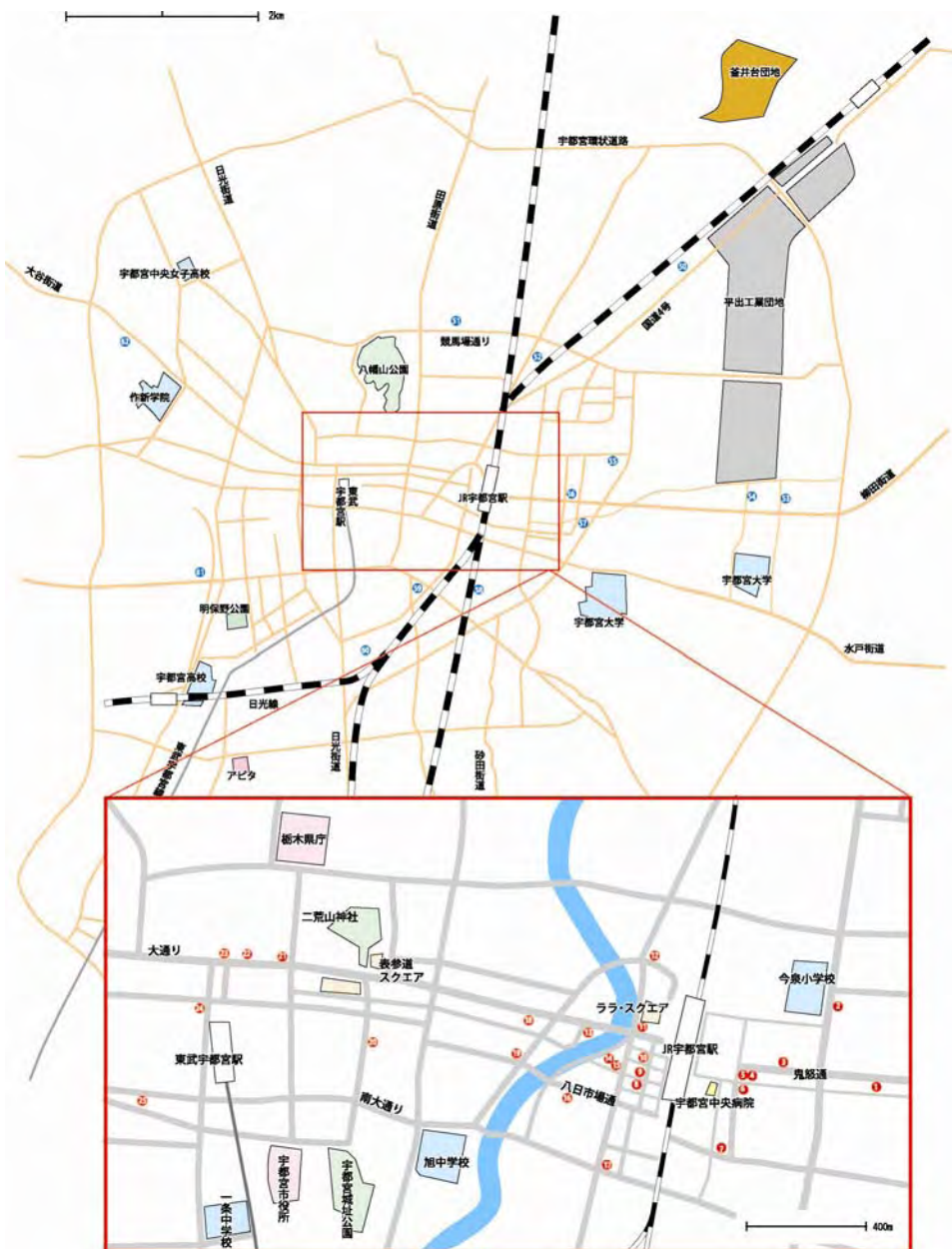


図 観光レンタサイクル導入候補となる宿泊施設の分布状況

## 5.2 おもてなしレンタサイクルモデル事業の実施

平成21年度に実施した利用者アンケートでは約7割が市外からの来街者であり、また、観光やビジネスへの利用意向が高いことが分かりました。

このため、ホテル・旅館に宿泊する来街者のレンタサイクルへのニーズがあると考えられることから、宿泊者を対象とした観光レンタサイクルの実施を検討するため、平成22年10月からホテル・旅館に宿泊しているビジネス客や観光客などを対象としたモデル事業を実施します。

### <実施概要>

#### ① モデル事業実施期間

平成22年10月から1年間

#### ② 事業内容

宿泊施設に、市が用意したレンタサイクルを設置し、宿泊者に無料で貸し出すとともに、利用者へのアンケート調査を実施する。

#### ③ 貸出し場所

中心部の宿泊施設7箇所（「実施施設位置図」参照）

#### ④ レンタサイクル台数

合計22台（各宿泊施設に3台～5台程度）

#### ⑤ 利用時間

宿泊当日限りの利用で、各宿泊施設のフロント対応時間内

図 おもてなしレンタサイクル実施施設位置図

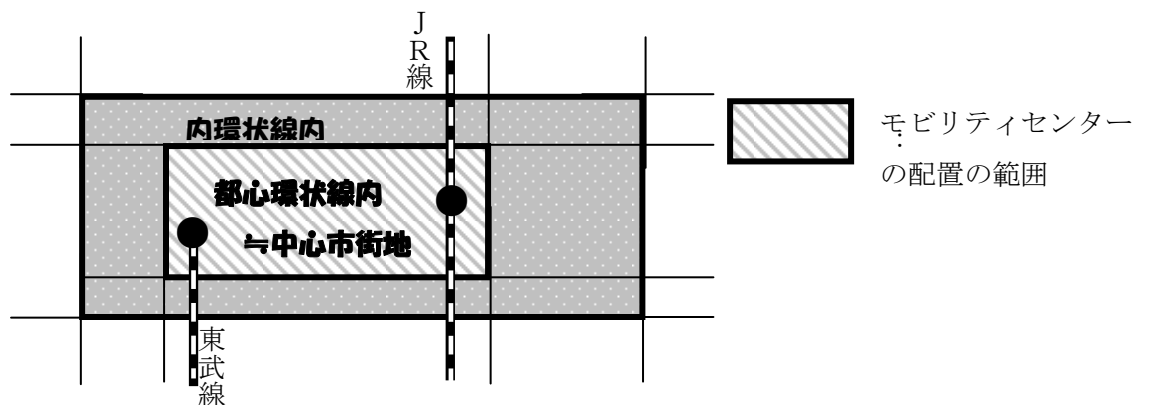


## 6 モビリティセンターの整備

### 6.1 施策概要

現行計画の「休む」の施策において、「モビリティセンター」整備の検討が位置付けられています。これまで、現行計画に基づき、自転車利用者を中心に多くの人が集まる宇都宮駅周辺や中心市街地に、自転車の利用・活用の促進のための戦略的な拠点として、休憩や自転車修繕・リサイクル、まち情報・観光情報などの諸機能を複合的にもつモビリティセンターの整備について検討してきました。

図 モビリティセンターの配置の範囲（現行計画）



本計画では、これまでの検討状況や平成22年度から実施するモデル事業の実施結果などを踏まえ、本格的に「モビリティセンター」の整備に取り組んでいきます。

### 6.2 「自転車利用者の利便性向上モデル事業」の実施

「モビリティセンター」の本格的な整備に向けて、JR宇都宮駅西口にモデル施設を設置し、利用者のニーズの把握や施設に求められる機能などを明らかにするとともに、より快適に自転車を利用できる環境を創出していきます。

#### <実施概要>

#### ① モデル事業実施期間

平成22年10月から平成24年3月末まで

#### ② 事業内容

下記の事業により、アンケート調査等を実施し、利用者のニーズ等を把握する。

- ・ 施設設備の提供
- ・ 「自転車のまち宇都宮」のPR、情報発信
- ・ 施設を活用したイベント（スポーツバイク教室、自転車フィットネス教室など）の実施

③ 施設名称

宮サイクルステーション（宮CYCLEステーション）

④ 施設所在地

J R宇都宮駅西口（川向町632-17）市営駐輪場西側

⑤ 施設設備

- ・ シャワー，トイレ，休憩スペース
- ・ 自転車の修繕・洗浄スペース
- ・ 観光やサイクリスポーツに関する情報スペース



図 「宮サイクルステーション」イメージパース

## 7

## 自転車マップの作成

## 7.1 施策概要

自転車に乗りたくなるような環境づくりに向けて、自転車マップを作成し、自転車ネットワーク路線やサイクリングロードを活用した観光ルート、サイクリングルートを提案、情報発信を行うことで自転車利用の促進を図ります。

## 7.2 観光ルート・サイクリングルートの設定

ロードバイクに乗った上級者や買い物や通勤・通学に自転車を利用する、一般利用者など様々な自転車利用者を想定し、観光ルート、サイクリングルートを設定します。

観光ルート	市外居住の一般利用者の回遊性を高めるとともに、市内居住者の自転車利用の促進にもつながるルート 市外居住の自転車愛好者、一般利用者の利用を中心に、宇都宮駅と郊外観光地を結ぶルート
サイクリングルート	市内外居住の自転車愛好者の利用を中心に、中心市街地からのアクセス性や、拠点となる施設の立地状況を踏まえて設定するルート

	市内居住者	市外居住者
上級者		
中級者 (自転車愛好者)	サイクリングロード	市街地と郊外 観光地を結ぶルート
初級者 (一般利用者)		中心市街地回遊ルート

図 ルート別利用対象者の概念

# 宇都宮自転車 MAP

走れば  
愉快だ  
宇都宮  
UTSUNOMIYA




## 宮サイクルステーション(宇都宮駅前)

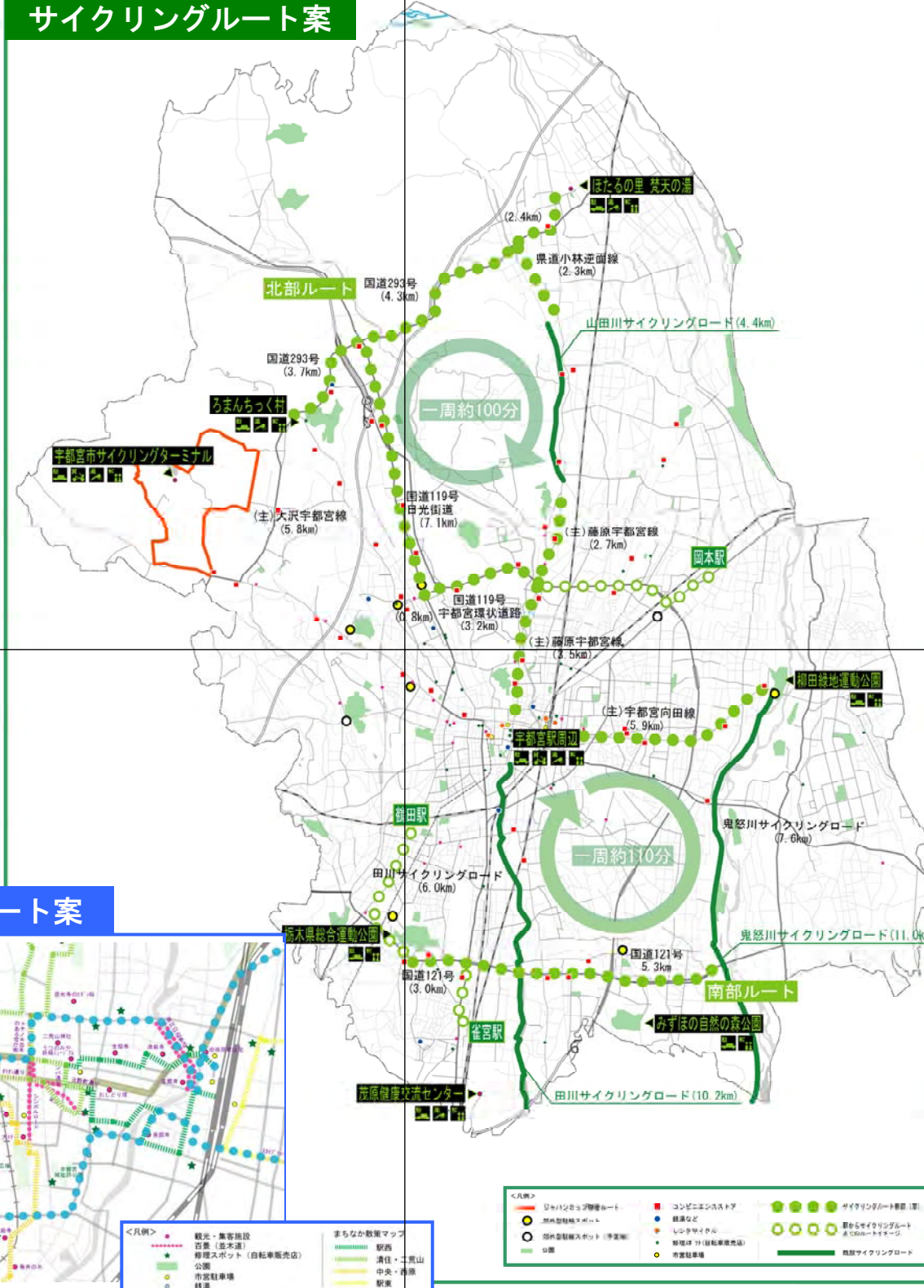


シャワー、トイレ、休憩スペース、自転車の修繕・洗浄スペースが完備されている他、観光やサイクリングに関する情報スペースがあります。また、スポーツバイク教室や自転車フィットネス教室が定期的開催されています。

## レンタサイクル情報

- 利用時間：午前8時から午後9時まで
  - 貸出は、以下の市内4か所の駐輪場で行っています。返却は、貸出した駐輪場だけでなく、以下の4か所のいずれの駐輪場でもできます。  
JR宇都宮駅西口駐輪場  
JR宇都宮駅東口駐輪場  
中央小学校北駐輪場  
東武宇都宮駅東駐輪場
  - 利用できる人：中学生以上
  - 利用料金：1日1回100円
- 
- 利用方法：
    - 各駐輪場の窓口にある「レンタサイクル使用申請書」に必要事項を記入し、「レンタサイクル使用証」と「自転車のカギ」を受け取ってください。
    - 自転車を利用する前に、必ず各自で安全点検を行ってください。
    - 利用中は、自転車を適切に管理し、破損・紛失・盗難などがないように注意してください。
    - 返却時は、各駐輪場の所定の場所にレンタサイクルを置き、速やかに係員にカギを返却してください。

## サイクリングルート案



## 観光ルート案



## 宇都宮市内の観光施設

### ・ろまんちっく村



宇都宮市の農林公園として整備された施設で、園内には、フラワードーム(温室)、クア施設・露天風呂、宿泊施設、地ビールレストラン、ハーブ園や散策が楽しめる四季の森等があり、多くの来場者で賑わっています。

### ・ほたるの里 梵天の湯



大露天風呂をはじめ、ジェットバス、寝湯、サウナ、砂湯、砂風呂、個室風呂を完備し、農産物等の展示販売コーナーがある。名産「ゆず」を使ったソフトクリームが人気。

### ・宇都宮森林公園



宇都宮市森林公園は、赤川ダムを中心にキャンプ場・バーベキュー場・サイクリングロード・トリムコースなどがあり、釣りやハイキングも楽しめるアウトドアスポットです。

### ・大谷景観公園



古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法(古都保存法)施行40周年を記念して、財団法人古都保存財団等10の団体で構成する「美しい日本の歴史的風土100選実行委員会」が進めていた「美しい日本の歴史的風土100選」の選考の結果、本市の「大谷寺・大谷石探掘跡」が準100選に選ばれました。

### ・栃木グリーンスタジアム



栃木県グリーンスタジアムは、「県民ひとり1スポーツ」の定着化と、ニーズに沿ったスポーツ施設の整備充実を図るなかで、サッカー・ラグビー人気の高まりを受けて全国的規模の大会や国際大会が開催可能なサッカー・ラグビー場として平成5年3月にオープンしました。サッカー天皇杯やラグビー東日本社会人リーグ等の会場にもなっています。

### ・白沢宿



奥州街道第一宿の白沢宿の風情を満喫できる七福神巡りを紹介。コース距離は約2.71kmで2時間の行程。宇都宮市内で完結する唯一の七福神巡り。

### ・とちのきファミリーランド



ジェットコースターに大観覧車等、楽しい乗り物いっぱい遊園地。木々に囲まれた池でのんびりボートを漕いでみるのも一興です。入園無料。

## 8 自転車モニター事業の実施

### 8.1 施策概要

宇都宮市内に事務所がある企業への協力依頼を行ない、企業の従業員に対して通勤時等に積極的な自転車利用を依頼し、日々の自転車の利用状況と体力測定・健康診断等を合わせて実施していきます。

また、モニター事業の実施結果や市民から自転車利用による健康面などへの効果を募集し、自転車の効用や効果をPRするための基礎資料を作成し、市のホームページや広報紙などを通して効果を公表していきます。

### 8.2 モニター事業のイメージ

#### (1) 協力いただけるモニターの登録

協力いただけるモニターの方には、事前に個人の基本データ等を登録してもらい効果把握の基本データとします。

##### 【登録するデータのイメージ】

◇住所・氏名      ◇ニックネーム      ◇身長・体重等

#### (2) 利用実績登録のイメージ

1日（あるいは1週間単位）で、自転車を利用した実績を記入してもらいます。

##### 【記録用紙への記入イメージ】

日付	走行距離 (km)	走行時間	目的
○月△日	5km	10分	通勤
○月△日	2km	5分	買い物
○月△日	1km	5分	業務
...	...	...	...

#### (3) 効果のイメージ

モニター個人の取組みに対するモチベーションを維持するため、以下のようなイメージで個人別の取組状況等が分かるようにします。

##### 【モニター個人へのフィードバックイメージ】

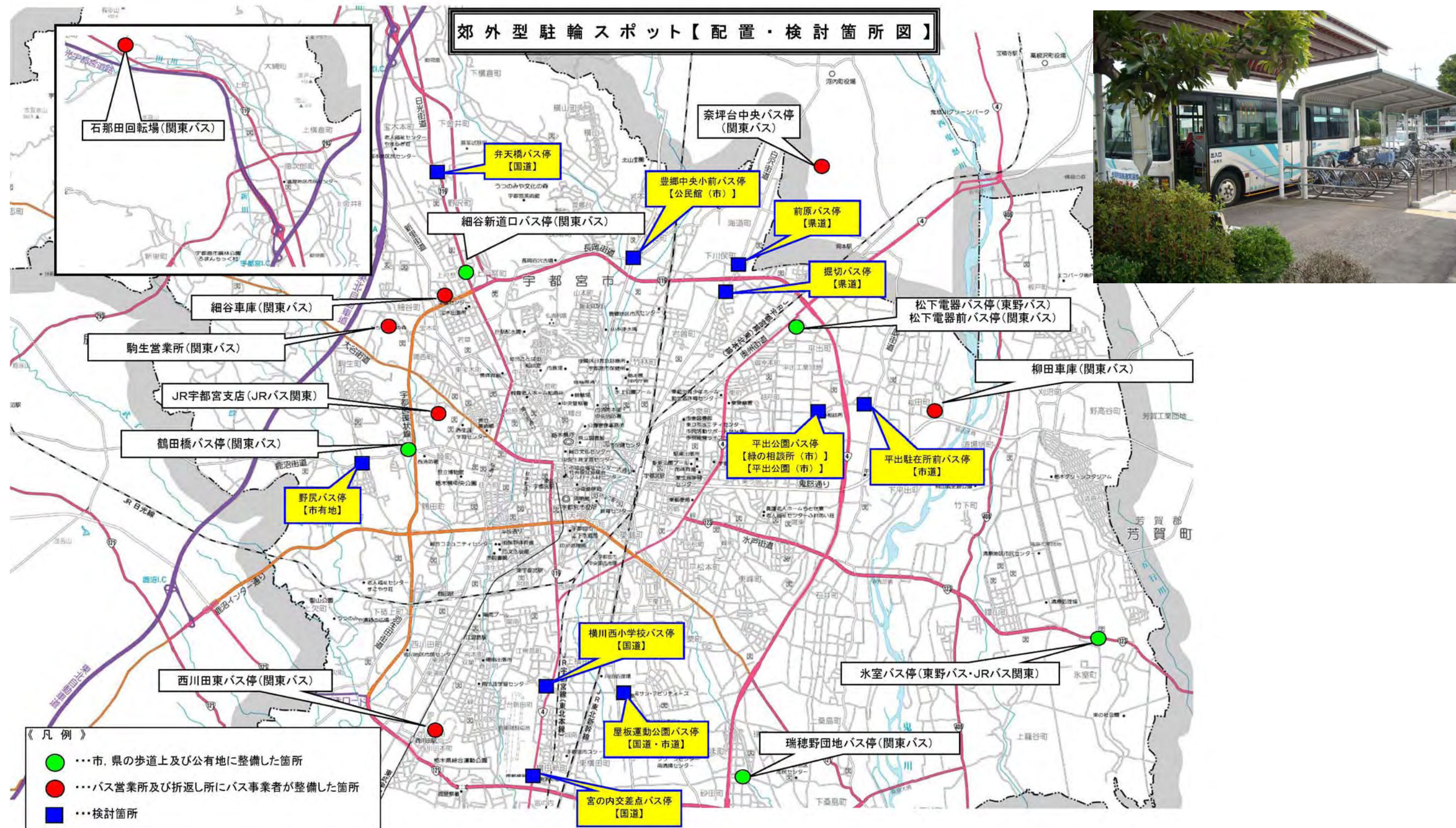
あなたの走行距離 : ●●km  
二酸化炭素削減効果 : ●●kg 減  
ガソリン代削減効果 : ●●円減

## 9 その他の施策事業

### (1) バス停付近への駐輪場整備

郊外部の主要なバス停付近を対象に、郊外型駐輪スポットの整備を行います。

国や県、バス事業者と連携しながら、道路上や路線バスの営業所・車庫等への整備を推進するとともに、幹線バス路線沿線のバス停付近の民間商業施設と連携しながら、施設の既存駐輪場や敷地への駐輪スポットの整備についても検討していきます。



## (2) 短時間駐輪スポット

中心市街地（オリオン通り周辺等）において、空き店舗の状況および活用可能な道路空間などの調査を行ない、短時間駐輪スポットの導入候補箇所や整備イメージについて取りまとめを行いながら、社会実験を実施するなど、中心市街地商店街と連携して短時間駐輪スポットの整備に取り組んでいきます。



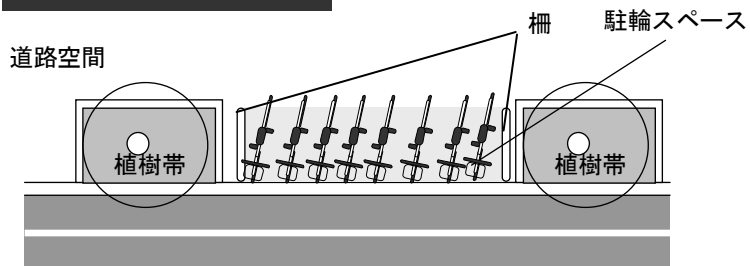
図 中心市街地の空き店舗の状況（平成22年8月1日現在）

### 《短時間駐輪スポットの整備イメージ》

#### 整備イメージ例（空き店舗）



#### 整備イメージ例（路上）



1 スケジュール

以下のスケジュールに基づき、計画的に施策事業を実施していきます。

I. だれもが“安全”に自転車が使える ～交通安全性の向上～		H23	H24	H25	H26	H27
(1) 自転車走行空間の確保	◎新たな自転車走行空間の整備<拡充>	整備(15路線)				
	自転車サインの整備<拡充>	整備(15路線)+駐輪場				
(2) 安全啓発活動の実施	交通安全教室等の継続・拡充<拡充>	継続・拡充				
	広報啓発活動の継続・拡充<拡充>	継続・拡充				
(3) 安全を守る環境づくりの 推進	安全安心な自転車用具の普及促進<拡充>	検討				
	交通安全施設の設置<継続>	実施				
	放置自転車対策の継続・拡充<拡充>	継続・拡充				
II. だれもが“快適”に自転車が使える ～快適性の向上～		H23	H24	H25	H26	H27
(1) 自転車利用のネットワー ク化	◎休憩スポットの創出(自転車の駅)<新規>	実施	検討	拡充		
	バス・鉄道との連携強化<拡充>	検討・実施				
(2) 新たな駐輪場の整備	◎鉄道駅周辺への駐輪場整備<拡充>	整備 (江曾島、宇都宮駅西口)	検討(その他)			
	バス停付近への駐輪場整備<拡充>	検討	整備			
	短時間駐輪スポットの整備<新規>	検討	整備			
III. だれもが“楽しく”自転車が使える ～観光やスポーツの推進～		H23	H24	H25	H26	H27
(1) レンタサイクルの拡充	◎観光レンタサイクルの導入<新規>	モデル実施	本格導入			
	コミュニティサイクルの拡充<拡充>	拡充				
(2) スポーツ・観光等との連 携	◎モビリティセンターの整備<新規>	モデル実施	検討・本格整備			
	◎自転車マップの作成<新規>	作成				
	観光・サイクリングルート <sup>の</sup> 創出<新規>	実施				
	サイクリングロードの整備<拡充>	検討				
	商店街との連携策の実施<新規>	検討	実施			
(3) プロスポーツとの連携	ジャパンカップの活性化策の実施<継続>	実施				
	自転車の普及促進(イベントの実施)<新規>	実施				

IV. だれもが“健康とエコ”に自転車が使える ～健康の増進と環境保全～		H23	H24	H25	H26	H27
(1) 自転車通勤の推進	モビリティマネジメントの実施<拡充>	実施				
	自転車通勤に関する職場環境改善<新規>	検討				
(2) 新たなライフスタイルの推進	◎自転車モニター事業の実施<新規>	検討	実施	実施結果のPR		

「自転車のまち宇都宮」の推進	「自転車のまち宇都宮」のPR<新規>	実施				
----------------	--------------------	----	--	--	--	--

## 2 評価指標

### 2.1 基本的な考え方

(仮称)自転車まち推進計画が、市民が自転車を“安全に”“快適に”“楽しく”“健康とエコに”使えることを目標とすることを踏まえた評価指標とします。

各目標に対して、重点事業の進捗状況を確認する整備延長などの「活動指標」に加え、この計画による効果が市民にもわかりやすくなるよう、自転車利用者の増加などの「成果指標」を設定します。

### 2.2 指標の設定

施策事業の展開案にある施策事業について、施策の進捗状況の評価する「活動指標」と、施策の効果を評価する「成果指標」の2つの指標により、事業の進捗状況の評価し、経年的に施策の効果を把握します。

4つの柱	活動指標（重点事業） 5年後（平成27年度）	成果指標 10年後（平成32年度）
<b>I. だれもが“安全”に 自転車</b> が使える 《施策事業》 自転車走行空間の確保 安全啓発活動の実施 安全を守る環境づくりの推進	<input type="checkbox"/> 自転車走行空間の整備延長 《目標値》 9.6 km ⇒ 24.9 km <input type="checkbox"/> 交通安全教室等 →宇都宮市交通安全計画で検討	<b>■交通事故件数</b> 警察の交通事故データから、市内全体や自転車走行空間の整備を行った路線の自転車に起因する交通事故の変化を把握します。  <b>■自転車利用者数</b> 国勢調査や世論調査などから、市内や自転車走行空間の整備を行った路線の自転車利用者数の変化を把握します。  <b>■CO<sub>2</sub>の削減量</b> 上記の自転車利用者数の状況から、自動車からの転換によるCO <sub>2</sub> 削減量を推計します。  <b>■市民の満足度</b> 市民へのアンケート調査により、自転車施策などに関する満足度を把握します。
<b>II. だれもが“快適”に 自転車</b> が使える 《施策事業》 自転車利用のネットワーク化 新たな駐輪場の整備	<input type="checkbox"/> 自転車の駅(休憩スポット)の整備数 《目標値》 36箇所新設 <input type="checkbox"/> 鉄道駅周辺の駐輪場収容台数 《目標値》 6,100台 ⇒ 6,700台	
<b>III. だれもが“楽しく”に 自転車</b> が使える 《施策事業》 レンタサイクルの拡充 スポーツ・観光等との連携 プロスポーツとの連携	<input type="checkbox"/> レンタサイクル拠点・利用者数 《目標値》 4箇所 ⇒ 14箇所 31,000人 ⇒ 41,000人 <input type="checkbox"/> モビリティセンター利用者数 《目標値》 モデル事業から設定 <input type="checkbox"/> 自転車マップ配布枚数 (実績値)	
<b>IV. だれもが“健康とエコ” に自転車</b> が使える 《施策事業》 自転車通勤の推進 新たなライフスタイルの推進 プロスポーツとの連携	<input type="checkbox"/> エコ通勤実施企業数 《目標値》 4企業 ⇒ 10企業 <input type="checkbox"/> 自転車モニター事業参加者数・実施効果 (実績値)	

### 2.3 「チャレンジ目標」

この計画では、「自転車のまち宇都宮」の実現に向けて、計画期間である5年間において、重点事業の活動指標の目標達成に向けて取り組みながら、概ね10年後には、以下の目標が達成され、市民の皆さんが、「自転車のまち」として誇れる宇都宮市となるよう積極的にチャレンジしていきます。

#### 自転車の交通分担率



※現在値は、平成12年国勢調査「常住地による利用交通手段（就業者・通学者数）」

#### 市民満足度



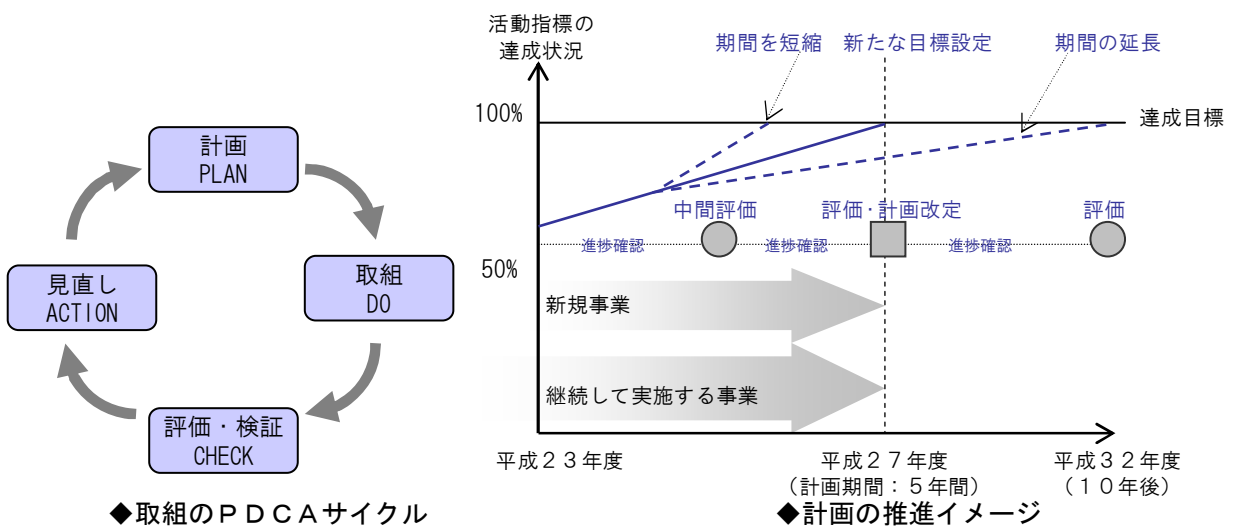
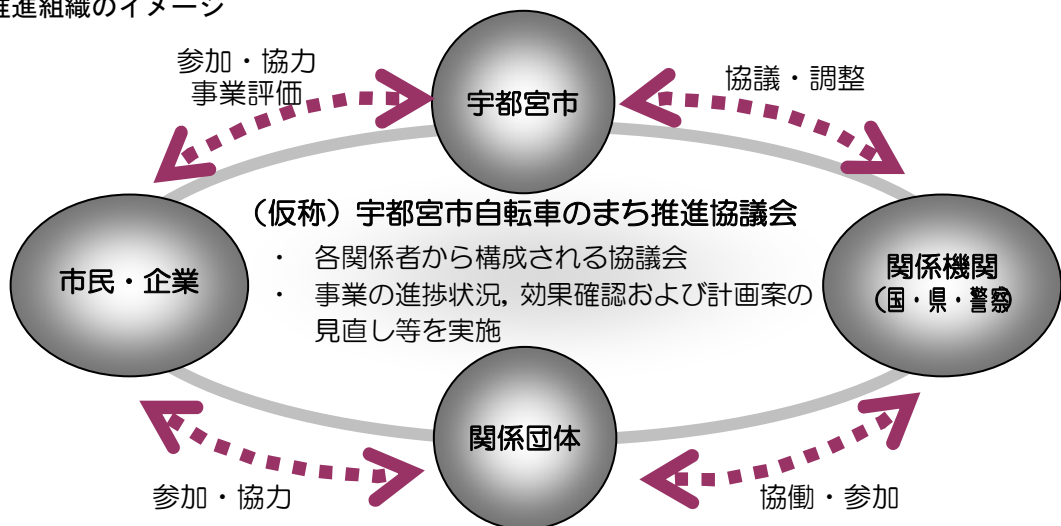
※現在値は、第42回市政に関する世論調査（平成21年度）「宇都宮市は自転車を使いやすいまちだと思いますか」の質問に対する「そう思う」「ややそう思う」の回答割合

### 3 推進体制・進行管理

施策事業の実施に向けて、庁内の横断的な組織を構築し、施策事業の具体的な推進を図ります。

また、「(仮称) 自転車のまち推進計画」に位置付けた施策事業について、市民、事業者、行政が連携して推進することができるよう、本計画の策定懇談会の構成メンバーをベースに、市民代表や関係機関などによる「(仮称) 宇都宮市自転車のまち推進協議会」を設置します。協議会は、「(仮称) 自転車のまち推進計画」で設定した目標(Plan)に従った取組(Do)対して、活用指標、成果指標により施策の進捗状況を評価・検証(Check)し、必要に応じて計画案の見直し(Action)を行ないます。これにより、確実な計画の推進を図ります。

#### ◆推進組織のイメージ



◆取組のPDCAサイクル

◆計画の推進イメージ